

シルクロードを渡り巡って アジアの各地に伝わった音楽と楽器達……。

アジア三弦奏

それらはどこか懐かしい音色を醸し出し、日本人にとっても親しみを感じさせるものでしょう。

中国の二胡・日本の箏・インドのシタール、アジアの3つの弦楽器をアレンジさせ、

あらたなアジアの弦楽三重奏として体感していただけます。なかなか目に触れる機会のない珍しい楽器は記憶に残ることでしょう。



演奏曲目

- *蘇州夜曲 *川の流れるように
- *シルクロード *荒城の月～月の沙漠
- *賽馬 *紫竹調(中国民謡)

出演

- *中村ゆみこ(二胡)
- *杉浦 充(箏)
- *吉田こうき(シタール)



杉浦 充



吉田こうき

2016 12/17 土 開演/14:00 (開場/13:30)

- 会場/亀山市文化会館 大ホール
- 入場料/500円(全自由席) ワンコインコンサートには前売券はございません。当日500円にてご入場いただけます！
- 主催/公益財団法人 亀山市地域社会振興会(亀山市文化会館)

会場案内



三重県亀山市東御幸町 63 番地
tel 0595-82-7111

亀山市文化会館
<http://www3.center-mie.or.jp/tickets/>

■中村ゆみこ（二胡）

5歳の頃より、クラシックピアノを習い始める。高校から、ロックバンドでキーボードを担当、名古屋のライブハウスで約8年間シンセサイザー奏者として活躍。その後、深みのある東洋的な美しい音色の中国伝統民族楽器“二胡”に出会う。数々のコンサート、レセプションでの演奏、ワークショップ等様々な音楽活動を展開する。また、自らシンセサイザーによる伴奏を製作し、それに合わせて二胡演奏をするという他の二胡奏者にはない演出法を駆使し、場面ごとの演奏空間を展開させる。オリジナル曲も作曲、シンセサイザー、アレンジすべて自分で手掛けた自主CDをプロデュース。最近では、箏、シタール、篠笛等、さまざまなジャンルの楽器とのセッションに力を入れている。二胡をソロ楽曲のみならず、一“弦楽器”として見せる新しいアジアの弦の風を吹かそうと模索している。

岡崎市岡崎城二胡教室講師、岡崎、豊橋、蒲郡教室講師・胡之音会主宰。



Yumiko Nakamura

■杉浦 充（箏）

6歳より、父、杉浦峰弦より箏の手ほどきを受ける。高校卒業と同時にアルバイトに明け暮れながらプロの演奏家を目し、箏の修業を始める。生田流箏曲と地歌三絃野村祐子、二十絃・十七絃、現代邦楽演奏法を石川憲弘、作曲法を松井明彦、音楽理論を山本礼子、各氏に師事。94年よりプロの演奏家として活動を開始。ソリストとして、また様々な邦楽ユニットのメンバーとして日本全国、海外においても10カ国、20公演以上に参加、出演を果たし好評を得る。98年よりソロユニット「らいぶ 独箏 ひとりごと」活動を開始。たった一人でのライブ活動とオリジナル曲製作を開始。以後、独奏曲をはじめとして邦楽器による合奏曲を多数作曲。ライブでの上演はもちろんのこと音源製作も多数を数える。現在、生田流箏曲「峰と海の会」主宰補として箏曲を通じて音楽の楽しさ、厳しさ、そして奥深さ、日本の永年に渡って培われてきた文化の一旦を伝えるとともに、あらゆるシチュエーションの中、箏を通して求められる音楽要求を親しみやすさと共に提供すべく、日々の精進、そして洋邦問わない他のジャンルのミュージシャン、アーティストとのコラボレーションにも余念がない。豊橋市在住。



Mitsuru Sugiura

■吉田こうき（シタール）

'93年よりバラナシにてP.M.Chatterjee にシタールを学ぶ。'97年よりマイハール流派屈指の後継者、アミット・ロイに師事、研鑽を積む。愛・地球博、興正寺五重塔建立二百年祭、COP10など、文化的・国際的なイベントに数多く出演。その数は毎年100本近くに渡る。'07年インド・コルカタにおける日印交流記念式典に出演、近年ではタイ・バングラデシュでの公演を成功に収めている。インド古典音楽を主軸に、多岐に渡るレコーディングやセッションワーク、バンドに参加。JaganathRecordsを主宰、舞踊家やヨガのための楽曲提供も行う。



Kouki Yoshida